

本号を読み終えて残る不満がもしもあるとすれば、それは、こんなに精魂を込めてまとめたものであるにもかかわらず、病理の診断はその論理からますます遠のいたのではないかということであろう。むしろ、それは不安、ないしは、焦りと言ったほうが適切かもしれない。筆者の考え方は、臨床を代表するものではないかもしれない。しかし、病理診断とは感性で行うものではないと信じたいし、本号の特集を踏台にして、感性の極致から論理を導いて欲しいものだ。

内視鏡の質についても、現状では最良のものと

評価するのは、遅れていると言わなければならぬ。この世界は日進月歩で、pit pattern の認識は、すでに実体顕微鏡の世界から電子スコープの領域へと取り込まれ始めていることも事実だからである。

この特集はすでに過去のものと割り切って、更なる1歩を踏み出そう。もう少しの努力で、我等の価値観が国際的に重きをなす日が来るだろう。それほどに、この特集のインパクトは大きい。最後に、多大の労力と時間をかけて本特集をまとめて下さった渡辺・味岡両先生に感謝する。

胃と腸

7月号(第27巻・第7号) 予告

発売予定 7月25日
定 価 1,957円(税込)

主題／出血を来した小腸病変の画像診断

序 説	癌研・内科	丸 山 雅 一
主 題	出血を主症状とした小腸潰瘍性病変の診断	鹿児島大・2内 西俣 寛人・他
	出血を主症状とした小腸腫瘍性病変の診断	松山赤十字病院・消 濁上 忠彦・他
	小腸の出血性病変における画像診断の役割—血管造影による診断と治療を中心に—	防衛医大・放 草野 正一・他
	外科における小腸の出血性病変の実態	慶應大・外科 山口 博・他
主題研究	転移性小腸腫瘍の画像診断	国立がんセンター・放 牛尾 恭輔・他
主題症例	小腸X線検査で術前に診断しえた出血性 Meckel 憩室の1例	九州大・放 平田 展章・他
	薬剤性小腸潰瘍による大量出血の1例	北里大東病院・消内 五十嵐正広・他
	出血を来した8mmの空腸脂肪腫の1例	名古屋市大・1内 春日井邦夫・他
	大量下血で発見された平滑筋腫を合併した von Recklinghausen 病の1例	函館中央病院・内 早坂 隆・他
	空腸潰瘍の1例	福大筑紫病院・消 植木 光彦・他
	大出血を来し画像的に異所性胃粘膜と潰瘍を描出しえた Meckel 憩室の1例	国立がんセンター・放 木庭 郁朗・他
今月の症例	リンパ筋転移(n ₂)を伴った小さな大腸sm癌の1例	金沢大がん研・外 藤本 敏博・他
	Ile 型早期胃癌の1例	藤田保衛大・内 中野 浩・他

胃と腸 (第27巻 第6号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 社内案内 (03) 3817-5600

本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1992年6月25日発行(毎月25日発行)

1部定価1,957円(本体1,900円)(配送料81円)

年ぎめ予約購読料22,320円(本体21,670円)

(送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印刷所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1992, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• 無断で複写・複製・転載すると、著作権の侵害となることがありますので御注意下さい。

(担当) 窪田・渡邊・江口・長谷川